

# 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		平成30年度 豊島区子ども読書活動推進会議（第1回）
事務局（担当課）		文化商工部 図書館課
開 催 日 時		平成30年5月23日（月） 午後4時～5時10分
開 催 場 所		会議室（中央図書館 5階）
議 題		1 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の概要について 2 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）平成29年度各課 進捗状況調査について 3 その他
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開の理由：行政機関における政策意思決定過程の途上に位置付けられる会議であるため
	会 議 録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開
		一部非公開の理由：行政機関における政策意思決定過程の途上に位置付けられる会議であるため
出席者	会 員	文化商工部長（会長）、教育部長（副会長）、学習・スポーツ課長、図書館課長、保育課長、学務課長、放課後対策課長、指導課長、朝日小学校長、地域区民ひろば課地域区民ひろば担当係長（代理）、文化デザイン課文化施策担当係長（代理）、子育て支援課子育て支援担当係長（代理）
	事 務 局	図書館経営担当係長、図書館課主任

## 審 議 経 過

### 1 会長挨拶

会員自己紹介

資料確認

### 2 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の概要について

事務局：資料1-1、1-2、1-3について説明

会 長：子ども読書活動推進計画について、質問はいかがか。

副会長：区立図書館の活用を推進するための諸施策が6事業あるが、図書館自体の展示フェアや作家ごとのラインナップ紹介、地域々で由来のあるものの展示など、図書館司書の専門性が発揮できるような事業は、計画のどこに位置づいているのか。

事務局：特集等の展示は行っている。子どもと本をつなぐ施策の充実という分野になる。

副会長：子ども読書活動の推進計画は、どこの自治体も作っているのか。

事務局：作っている。

副会長：第三次計画策定時には、第二次計画の評価があつて、積み重ねていく構造になっていると思うが、そのような理解でよいか。

事務局：そのとおり。アンケート調査による評価の中で、小学生の読書率は高かったが、YA（中高生）の読書率が低かったので、第三次計画はそこに力を入れていこうということと、家庭での読書、早い時期から本に親しむことが必要ということで乳幼児期の読書環境を充実させるということに第三次は力を入れるということで、概要版で説明した第三次計画の重点ポイントになった。

副会長：力を入れるということは、従前よりもアウトプットを増やすという意味か。

事務局：そのとおり。

会 員：数値目標について、資料6ページの区立図書館の蔵書数が25年度から26年度に3,100冊ほど減ってしまっている。32年度にその分加わっている。廃棄されたのかどうか。各課の進捗状況の中で同じような表現が11ページにもある。区立図書館の貸出冊数が、28年度は38万7千冊だったが5年後は35万冊に下がってしまっている。学校図書館もそうだが、どのように分析してこの数字が出てきているのか教えてほしい。

事務局：この数値目標は、蔵書数ではなく貸出冊数である。貸出冊数の実績が一次、二次と下がる傾向にあり、本来ならば数値目標を上げるべきだが、その下げを最小限に留めるということでこの数値が出ている。目標を上回る結果が出ているところもあり、実際は目標を下げすぎたと思っている。ただし、YA書については、下がりやが止まらない傾向にある。計画を策定した時点では、これまでの下降率をここまで留めるということで設定した数値とご理解いただきたい。

会 員：逆に言うと、そういう努力をしていかななくてはいけないということか。

事務局：そのとおり。

副会長：中学生と高校生の読書が減る、目標的にも減っており、伸びない傾向と読んでいる。その原因、高校生たちの意識の変化とか、タブレット等で読むのは読書になるのかとか聞きたい。本を読むことは人間の一つの文化である。親が本を読む家庭であれば自然に子どもも読む傾向にあると推察するが、親や学校の教師の働きかけ、文化による働きかけが原因として大きくあるとすれば、そういうことは調査しているのか。で全体の計画像というところだろうか。がいたい。

事務局：29年度に東京都が調査した資料を、本日机上配付している。最近、東京都が調査したもので、本を読まなかった理由が提示されている。中学2年生は、本を読むのに興味がないというのが50.4%、次に読みたい本がなかった。高校2年生になるとすべてが低く、興味がないとなっている。右上に本を読んでいる生徒と本を読んでいない生徒の身近な環境の違いがあるが、先ほど言われたように文化の違いかと思う。これと似たような結果が豊島区の調査でも出ている。一番高いのは、家の中に本があったという、そういう文化的な環境があるということが大きかったと、それから身近な人に本を読んでもらったことがあるとか、身近な人と一緒に図書館や書店に行くことがあるとか、こういう背景が大きく影響しているのではないかということ。豊島区の調査結果でも感じた。こうしたところをできるだけ努力するために乳幼児期からの読書環境の充実に力を入れていこうと第三次計画を立てた。

会 長：東京都の調査結果の左下の方に教科書とか含まない。と書いてあるが、媒体までは東京都は考えていないのか。

事務局：東京都とは若干違うが、26年度に行った豊島区の調査では電子書籍については、特に規定していなかったの、個人の判断になっている。今後は、一定の規定をしたほうが良いと思っている。

### 3 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）平成29年度各課進捗状況調査について

事務局：資料1-4、1-5について説明

会 長：進捗状況調査の実施について、意見はないか。

会 員：第3次計画に掲載されている事業の性質が途中で変わる場合の表現、記載方法はどうしたらいいのか。

事務局：個別に事業の内容等を聞いてから調整したい。

会 長：よろしければ、これでご了承いただけたということで、事務局より各課に配付させていただきます。

### 4 その他、平成30年度図書館ネットワーク便活用による拡充事業について

事務局：資料1-6、参考資料1・2について説明

会 長：図書ネット便について、本日、地域区民ひろばと子どもスキップの担当課より、わか

っている範囲で構わないので、情報共有としてお話しいただきたい。

会 員：29年度よりモデル事業として2施設実施した。大活字本という存在を知らなかった利用者が、閲覧できるようになって喜んでいる。課としては利用件数を把握していないが、所長によるとたいへん好評であると聞いている。

また、ひろばに合わせてネット便を増やしていただけるとか、これまでもひろばの予算の範囲内で充実してきか、目を向けるいい機会になっていると聞いている。30年度も既に対応していただいているが、引き続きよろしくお願ひしたい。

会 員：30年度拡充という事で予算をつけていただいた。これについては、昨年度のこの会議の進捗状況で、スキップの従事職員が図書館まで借りにくるのは大変なので工夫や改善が必要ということで、図書ネット便を実施していただけないかとお願いした。小学校にはもともと回っているの、そこに乘せてもらえないかと相談したら、もういっぱい載りきらないということであった。

30年度からはスキップだけを回っていただくということで、スキップ用に予算を取っていただき感謝している。4月から始まったばかりだが、4月は半分のスキップは、借りていると聞いている。所長会でも、活用してくださいと話しているの、実績は伸びるとみている。

会 長：子ども読書活動に向けては効果があるということであれしく思った。議題についての説明は終わりましたので、みなさんから、何かありましたら、全体についてでも構わないので、ご発言いただきたい。

会 員：計画の進捗状況のなかで学務課は学校図書標準というのがあり、学校図書館の蔵書数を増やすというのがミッションであるが、予算を毎年つけているが、学校図書標準自体が学級数に応じて設定をされるものなので、子どもの数が増えて学級数が増えたと、学校図書標準が増えてしまい、学校図書標準を達成している学校数が減るという状況である。達成するのが難しい。たぶん、29年度もそうなってしまうのではないかとと思われる。各学校で達成しているところとそうでないところのバラつきがあるので、いままでは、一律に配分しているが、今後は少し差をつけようかと考えている。

会 員：豊島区は、学級数にそれほど差がないので、読書ノートを活用して学校図書館が繋がることで貸出数が増えたり、子どもの読書量が増えたりすることは賛成だ。読書ノートを本校の児童はどのくらい利用しているのか数値化していただけると、学校でも、読書ノートを知っているか、活用しているかと呼びかけるだけでも違ってくる。読書ノートは、子どもの心をそそのかす作りになっているので、どれくらいの子どもたちが活用しているのか教えていただきたい。是非、見えるような形にしていきたい。そうしていただけると私たちはもっと協力できる。

事務局：5冊たまとバインダーをプレゼントしている。確かに好評で、読む子どもと読まない子どもの格差が、すごく大きくなっている気がする。あまり本が好きでない、関心

のない子どもにも関心を持ってもらえるようにする工夫をいろいろ考えていく必要がある。ダウンロードできるようになっているので、学校でダウンロードして配っているところもある。いろいろな活用の仕方をしていただくとありがたい。

会 員：夏休み前にさらにもう一度プッシュしていただくとありがたい。読書感想文を書く本との出会いが大きいものになっている。

事務局：検討したい。

会 員：「読書ノート」は図書館で配るので、図書館で借りた本のみ記載するのか。

事務局：記入するのは、図書館で借りた本だけではない。どれでもよい。

会 員：今、ダウンロードできると聞いたので、これは、しっかりと周知を。

事務局：校長会等で周知させていただいた。さらにまた、夏休み前が効果があるということなので、検討させていただきお願いに伺いたい。

会 長：学校司書は、夏休み期間中は居るのか。

事務局：昨年の例ですと、基本的に週に1回は居るが、夏休みは、年に1回の曝書ということで特別整理期間として出勤はするが、学校図書館は休みとなる。特別整理期間は、一定期間応援に行くので、5日のうち2日は、曝書にあてさせていただき5日のうち3日は普通に出勤となる。ただし、学校によっても違う。

会 員：夏休みは長い期間、1日長く、スキップも工夫していろいろ行っているが、司書が居るときにスキップが行って何かやっていただけたとか利用できればいいと思っている。その際、司書が居ないと借りることができない。

会 員：今年度から、学校とスキップの一体化という事になっているので、夏休み一日、ゆっくりと図書館で涼しい環境の中で過ごすことができる。その時に司書が居ることはできると思う。

副会長：夏休みに曝書というのは。

事務局：年に1度は棚卸をやらなければならない。一番影響が少ないのが夏休みなので、その時期に、機械を相互に貸出して行っている状況である。

会 長：いろいろな方のご意見をこの読書活動の計画に生かしていければと思う。

副会長：今年は、この会議は何回実施するのか教えてほしい。

事務局：年2回。次は、9月を予定している。

副会長：教育委員会で報告するのか。

事務局：進捗状況をまとめたものを報告する。

事務局：アンケートと計画策定年度とその前年度については、会議の回数が増える。昨年と今年進捗状況の管理だけなので年2回実施する。

副会長：年2回、メンバーが責任を持って評価したり指標を持ったり次の調査に向かって提言をするなど、そういうワークをみんなで分担するような段取りを事務局はどう考えているのか。この先の会議を考えているのか聞きたい。

事務局：策定の時期に関しては、要綱にも定めているが作業部会を設けて現場の方々に集まっ

ていただき検討する場を設定する。昨年や今年などのように進捗管理だけの時期は、大きな会議体のみ実施。

会 長：今年度は大きな会議のみ、必要に応じてテーマがあったら、その時には、随時この場で相談させていただき、会議体をどうするのか相談して決めたい。

会 員：生涯学習関係で豊島コミュニティ大学などいろいろ図書館で展示している。この方々は、どちらかという本を読まれる方たちだと思う。一方でスポーツ関係では、図書館でオリパラの関係の本を追加したり、オリンピックが影響を受けた本を紹介したりしている。生涯学習だけでなく、スポーツ分野の本を推進することで、この計画を進められればと思っている。

会 員：1歳のお子さんにバースデイ訪問で絵本をプレゼントしている。ご家庭に届けるという形で実施している。センター自体には、本を置いておく場所がなく、本を紹介するとか本を見て触れてもらったりする機会は少ないが、これをきっかけに本に触れる機会を作るよう考えていかなければと思っている。

会 長：これで会議は終了する。最後に、事務局から連絡を。

事務局：承認いただいたので、調査を開始し、取りまとめた結果を9月の第2回、日程はこれから調整をするが、第2回の会議で進捗状況をまとめたものを報告し、教育委員会、図書館経営協議会に報告する予定。本日の議事録については、メール・交換便等で送付するので、確認をお願いしたい。

会 長：それでは、平成30年度第1回会議を終了する。

提出された資料等	<p>配付資料</p> <p>資料 1-1 豊島区子ども読書活動推進会議設置要綱</p> <p>資料 1-2 豊島区子ども読書活動推進会議会員名簿</p> <p>資料 1-3 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）概要版</p> <p>資料 1-4 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次） 平成 28 年度各課進捗状況</p> <p>資料 1-5 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次） 平成 29 年度各課進捗状況調査依頼関係書</p> <p>資料 1-6 平成 30 年度図書館ネットワーク便活用による拡充事業について</p> <p>参考資料 1 読書ノート</p> <p>参考資料 2 読書ノート（パパ・ママの読み聞かせノート）</p> <p>当日配付資料 平成 29 年度児童・生徒の読書状況調査等の結果について（概要版）</p>
----------	---